

研究テーマ ●多民族社会カナダの歴史とイギリス帝国

法文学部・人文学科

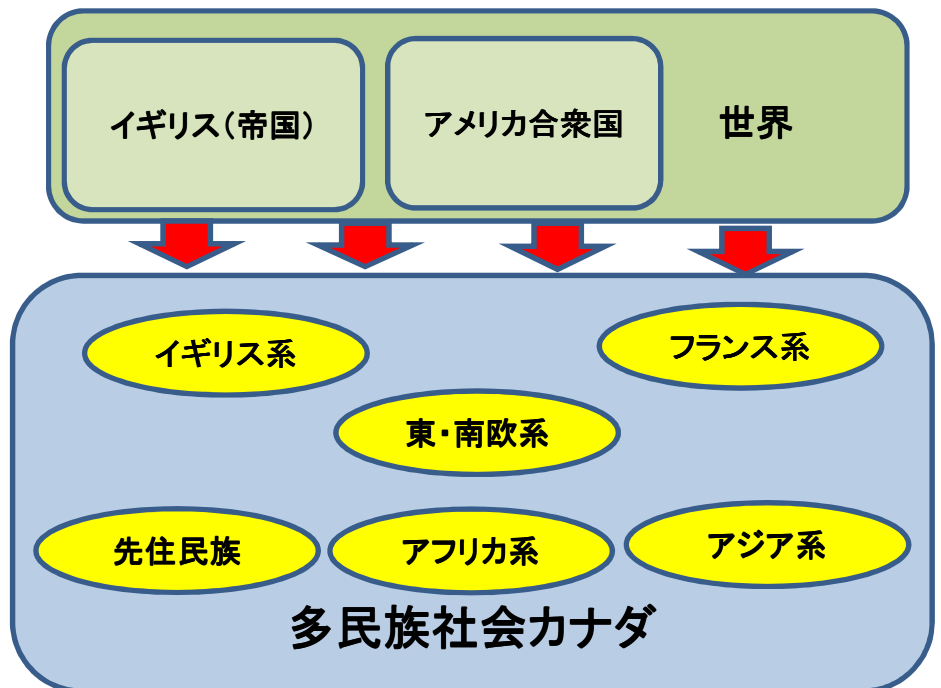
教授 細川 道久

研究の背景および目的

世界に先駆けて多文化主義を国是としたカナダは、今日、「多文化共生」を進める21世紀の実験国家として世界の注目を浴びています。しかし、多文化主義政策が採用されるまでには、幾多の苦難の歴史がありました。多民族社会カナダの成り立ちを、イギリス、アメリカ合衆国など、他の地域との関係から考察するとともに、民族間の対立・共存という試行錯誤の様相の解明をめざしています。

■おもな研究内容

- ①カナダ多民族社会の成り立ちとその社会統合について、北大西洋世界、ひいては世界各地との政治・経済・社会・文化的関係に留意しながら考察。
- ②カナダ多民族社会における対立・共存の諸相についての考察。
 - ・イギリス系 vs. フランス系
 - ・「白人」 vs. 「非白人」
 - ・「白人」と「非白人」の「混血」に対する扱い
- ③「白人」社会内部の序列化について、優生学、精神医学、医療の側面から考察。



期待される効果・応用分野

カナダ社会に対しては、多民族共存、平和指向、大自然など、よいイメージが先行しがちです。しかし、その背後にある「負の歴史」に向き合わないかぎり、実像を理解することはできないのではないのでしょうか。「負の歴史」を克服しようとしてきたカナダの試行錯誤の歴史を知ることが、「多文化共生」をめざす私たちの社会にとって、多くの示唆が得られるのではないかと思います。

■共同研究・特許などアピールポイント

- 日本カナダ学会副会長・理事として、カナダ研究の発展・普及に尽力。研究書、訳書のほか、一般向けカナダ史概説やカナダ紹介書も多数執筆。
- イギリス、アメリカ合衆国、オーストラリア等との比較・関係史の共同研究にも参画しています。

🗨️ コーディネーターから一言

多民族社会カナダの成り立ちをイギリスを始めとする世界との関係や、内部での対立・共存という「負の歴史」克服の試行錯誤から考察。カナダ、または多文化共生に関する講演・コメント・会議等への協力が可能です。

| | |
|-------|-------------------------------------|
| 研究分野 | カナダ史、イギリス帝国史、北米地域研究、英語圏社会文化研究、カナダ研究 |
| キーワード | 国民統合、多文化主義、移民、帝国意識、白人性、優生学、精神衛生 |